

令和7年度第3回 四万十市総合計画審議会 会議録

- 日時 令和7年11月25日（水） 13:30～15:00  
○場所 四万十市役所本庁舎6階 議員協議会室  
○出席者 委員30名のうち出席18名  
推進本部員17名、事務局2名、委託業者2名 ※別紙：出席者名簿添付

○配布資料

会議次第

- 【資料1】第2回総合計画審議会委員意見資料  
【資料2】総合計画・総合戦略推進本部意見資料  
【資料3】（仮称）第2期四万十市総合計画（素案）  
（参考1）策定スケジュール〈結果概要〉

1 開会

岡村会長

2 議事

（1）報告事項

①第2回総合計画審議会での意見について

・事務局説明

資料1をもとに説明

【質疑等】

特になし

②第3回総合計画・総合戦略推進本部での意見について

協議事項に併せて説明

（2）協議事項

（仮称）第2期四万十市総合計画基本計画（素案）について

・事務局説明

資料2、資料3をもとに主に基本計画部分の修正点について説明

■議事

質疑

委員：

基本目標1は「地域資源とデジタルを活用した、産業と暮らしを育てるまちづくり」との  
標題となっているが、デジタルという政策がどこへどう入るのが曖昧ではないか。P62ま  
で見てもデジタルという表現があまり出てこないように思う。重点的に行っている部分を  
わかりやすく表現した方が良いのではないかと。

事務局：

「デジタル」以外に「スマート」という表現を用いている。例えば p45 の【現況と課題】では、「農業の効率化…スマート農業の普及を推進しています。」と記載している段落がデジタル関連施策の説明を行っている箇所。また、p46 取組みの方向性「(4) スマート農業の普及と支援体制の整備」では、「スマート農業に対応できる人材育成と共同運用の定着及び普及を促進してまいります」ことで担い手不足等に対応していきたいという表現をしています。

会長：

産業振興するのに、地域資源だけを活かすのかということは気になった部分。これだけ少子高齢化が顕著になって、若者流出があるなか、新たな産業創出は考えられないのか。例えば地域資源を活かさない産業として情報産業等があると思うが、それは第1章に入っていないのか。

事務局：

どこに記載されているかは今お示しはできないが、デジタル等活用して新しい産業を作っていくという核になるセンターもできた。そういった取り組みやサテライトオフィスといった項目など ICT 含めてデジタルを活用した産業を育てる・作るといった取り組みになるかと思う。また地域資源は自然や文化含めた良いところを全て活用して、もっと外に PR できることを出して情報発信を積極的に行いながら産業に力を付けていこうという考え方でヘッドライン的な見出しの部分は考えている。

会長：

私としては高知県がアニメーション産業を育成しようといったことをしているが、地域資源の活用ではない。そういったことを考えられないだろうかという質問をさせていただいた。

事務局：

産業の振興を図っていくためには新しい発想で今までにないものを生み出すことは必要なことで、そういった考え方はどこかでは入っていますが、先ほどのイノベーションセンターでも様々な分野の業種が結びついて新しい価値や仕事を生み出すといった取り組みも始めます。

会長：

わかりました。どこに入っているかわからないではなく、入っているか入っていないかだと思う。私は必要だと思うが、いらならいらないで構いませんのでまた検討いただきたい。例えば若者や女性が働きやすい環境といったことを深堀してはどうかといったことを意見させていただきました。

委員：

丁寧で分かりやすい文章ではあるが、接続詞が多いように感じる。例えば 48 頁の 3 番スマート林業の推進では推進しますで切った後に説明が続くが、「推進し、」で次の文章に行くのはどうか。

事務局：

また全体を通して修正等対応します。

会長：

読み手によっては、こういった文体で書いているのかが共通していると読みやすいかもしれない。

・事務局より第5章の説明

質疑

委員：

住民自治について、どこの集落も高齢化していて、今までしていたことをどう継続していくのかが課題となっている。住民自治を考えるなら、集落をどう活性化していくかを書く必要があるのではないか。107頁では市行政全体の自治について書かれているが、住民にとって住民自治は集落で、自分たちの地域のことをやるものなので別のところの話をしているように感じるのではないか。

事務局：

集落をどう維持していくか、集落のコミュニティをどう維持していくかというのは、また別の視点で書いて推進していく必要があるかと思っています。またご意見いただきたい。

会長：

本章では国際化、例えば多文化共生などは考慮されているのか。

事務局：

国際化の視点は必要と考えるので追記していく。

・事務局より第2章について説明

質疑

会長：

68頁のギガスクール構想は誰が持っている構想なのか。

学校教育課：

ギガスクール構想は国の構想で、四万十市では令和2年度にひとり1台端末を購入し、タブレット端末を活用した授業を実施しているものです。

会長：

国に歩調を合わせてやりますということが書かれているということで、わかりました。

委員：

71 頁で地域文化の振興の現状認識が書かれているが、休止状態になっている権谷の水祭りなど伝統行事は危機的状況にあると感じている。民俗文化財 4 件、有形文化財 44 件ということで無形文化財が弱いような気がする。

会長：

無形文化財についても書き記しておくべきだというご意見ですがいかがでしょうか。

事務局：

そういった視点も踏まえて修正します。

会長：

現況と課題と取り組みのところで無形文化財を今後どうしていくのかについても触れていただきたい。

・事務局より第 3 章について説明

質疑

委員：

市民病院に回復期病棟はなく、回復期は担っていないと思うのですが文言を変えたほうがいいのではないか。

市民病院事務局：

回復期というのは持っていませんがリハビリテーション病棟や、地域包括ケア病床というところで急性期から回復期をつなぐような病棟ということです。

委員：

回復期という言葉だと骨折なら 90 日入れたりといった勘違いをされる可能性があると思ったので、ご検討ください。

市民病院事務局：

文言については整理する。

会長：

76 頁で医療体制の充実から「確保」に変えるのはタイトルだけなのか、内容も合わせてなのか。

事務局：

内容に合わせてタイトルを見直したような形で、完全に充実から確保に変わっているわけではないが以前に示した内容からは修正をかけている。

・事務局より第4章について説明

質疑

委員：

都市公園について、市内に58か所あるが遊具など似たものが多いし、それほど子どももいないように思う。公園の数を減らして、そのお金で集中投資して公園の内容を充実させるということは考えられないか。

まちづくり課：

都市計画を行ううえで公園を作らなければいけないというところで現在に至っており、現状一気に縮小してやっていくと書けるかというところではある。遊具については保育所にアンケートを取ったり、高齢者の方も使える遊具も設置するなど全年齢の方が使えるように長寿命化に向けて取り組んでいます。

会長：

最近はどう公園を活用の場にするのか、パークマネジメントしているところなどあるが活用の観点で四万十市ではされていることはあるか。

まちづくり課：

活用の観点については昨年、議会と他県へ視察に行った。本市では民間のパートナーはなかなか難しいところがある。考えているのは公共施設のオープン化というところで色々な民間さんが公園をイベント等で使っていただけるといった従来にはない使い方ができるような取り組みを徐々にしています。

副会長：

441号は改良が進んでいるが、439号は市としてはどのような取り組みをしているのか。

まちづくり課：

合併新道路ということで441号を重点的に整備しており、2つのトンネルが同時着手になって1つは貫通した。439号については四万十町と四万十市で整備促進同盟会を従前より結成しており、四万十町側にある集落のルート of 構想を取りまとめる状況にある。四万十町のほうがまだ集落があるが、そのルートがまだできていないので優先的に整備していく。具体的に県から回答はないが順番に行っているところです。

副会長：

ぜひ四万十市からも県に強い要望を出してください。

会長：

防災の箇所については書くべきところは書いておくべき、無理に2ページに納めなくてもよいのではないか。

委員：

73頁の生涯学習とスポーツの振興、生きがいとひとくりにして市民の健康や生きがい

を支えるとなっているが、生きがいを支えるだけでなく豊かな精神文化ということも入れてもらえればと思う。

委員：

58 頁の鳥獣被害対策について、農業だけではなく林業や漁業でも被害が出ているので書いてもらいたい。

会長：

企業誘致については取り組みの方向性としては出てはこないのか。

事務局：

見直しをかけているところだが、55 頁の施策が企業誘致に該当する。

会長：

繰り返しになって恐縮ですが、新しい産業はどこで産むのか。

事務局：

施策 6 の雇用創出の推進あたりが関係してくる、どこにどのような記載をしていくか検討する。

会長：

若者などが地に根付くようなことを産業のほうでもどうすべきかを検討いただきたい。

委員：

いま夏休みが終わって学校が始まる前に自ら命を絶つ子どもが増えているようです。長期休みが終わって学校に行きたくないなど、子どもたちが相談したりできるような逃げ場づくりといった取り組みについて追記してはどうか。

事務局：

検討する。

会長：

長期休みになった時の居場所になる場所はあるのか。

子育て支援課：

長期休みも放課後児童クラブ、放課後こども教室は朝から夕方まで開いており、学校に代わって子どもたちを預かっているという形になっている。ただし、いずれにも属していないお子さんたちは家におられるような状態となっています。

委員：

私の中で、この会議が今後どのように生かされていくのかイメージができていないので教えてください。

事務局：

次期総合計画は現況と課題があり、それに対応する取り組みの方向性、関連計画という構成になっている。関連計画がそれぞれの取り組みの方向性に対応した個別計画となっており、この個別計画をもとに総合計画で示された方向性に対応して、各種事業を実施していく。それに対する評価指標や目標設定なども個別計画に委ねる形となるので、関連計画という記載を具体的な事業にどう紐づいているのかが分かるような表現に修正させていただければと考えている。

会長：

全体が俯瞰して見えないと今どこの部分を議論しているのかがよく分からなくなる。取り組みの方向性があったらひとつひとつのタイトルごとに事業が出てくるのか。

事務局：

総合計画としては事業単位で掲載することは考えていない。

会長：

基本計画の下に個別計画があって、個別計画ごとに事業があるという建付けなのか。

事務局：

総合計画の構成でいうと一番上に基本構想があり、次に基本計画、基本計画の下に、実施計画という 3 段構成になっている計画もあるが、四万十市では実施計画となる部分がそれぞれの個別計画になろうかと考えている。

### 3 その他

会長：

本日の議事は以上でございます。その他委員の皆様、事務局からありますか。

事務局：

今後いただいたご意見を反映してパブリックコメントのほうに移っていきたいと考えている。なお第 2 回審議会終了後に文書でお送りした意見の集約は第 2 回審議会以降では提出はなかった。第 3 回審議会終了後につきましても会議録の確認に合わせて文書を発送予定です。

会長：

以上で本日の総合計画審議会を終了します。

### 4 閉会

## 別紙

## 令和7年度第3回 四万十市総合計画審議会 出席委員名簿

◎：会長、○：副会長

区分	所属	氏名	備考
公共的団体等に属する者	(一社) 四万十市観光協会	小松 昭二	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十川漁業協同組合連合会	金谷 光人	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	下田漁業協同組合	藤田 豊作	
公共的団体等に属する者	高知県農業協同組合	竹吉 功	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	中村市森林組合	宮本 昌博	
公共的団体等に属する者	西土佐村森林組合	山崎 一夫	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	中村商工会議所	○ 佐田 博	
公共的団体等に属する者	四万十市西土佐商工会	上村 賢介	
公共的団体等に属する者	(一社) 中村青年会議所	野元 亮佑	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十市商店街振興組合連合会	土居 愛明	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十市自主防災会連合会	杉本 義和	
公共的団体等に属する者	四万十市消防団	遠近 永年	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十市区長会	○ 濱田 正也	
公共的団体等に属する者	高知県地球温暖化防止活動推進委員	滝石 典子	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十市社会福祉協議会	大林 郁男	
公共的団体等に属する者	四万十市中村地区民生児童委員協議会	浜田 精一	
公共的団体等に属する者	四万十市西土佐地区民生児童委員協議会	太宰 政博	
公共的団体等に属する者	四万十市医師会	小原 長生	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十市保育所PTA連合会	西内 洋勝	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	子ども・子育て会議 (NPO 法人スマイルはたっこ)	久保 美保	
公共的団体等に属する者	四万十市小中学校PTA連合会	平野 祥智	
公共的団体等に属する者	四万十わかば更生保護女性会	西 美和	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	四万十人権擁護委員協議会	助村 通俊	〈欠席〉
公共的団体等に属する者	男女共同参画推進協議会	清水 奈緒美	
公共的団体等に属する者	四万十市文化協会	谷田 洋子	
学識経験を有する者及び市民	有識者	◎ 岡村 健志	
学識経験を有する者及び市民	有識者	須山 美樹	
学識経験を有する者及び市民	有識者	中 洋介	
学識経験を有する者及び市民	一般公募市民	金澤 ゆず香	
学識経験を有する者及び市民	一般公募市民	上岡 三郎太	

令和7年度第3回 四万十市総合計画審議会 推進本部員出席者名簿

〈本部員〉

職	氏名	備考
西土佐総合支所長兼地域企画課長	佐川 徳和	
総務課長	有光 浩	〈代理出席〉
地震防災課長	安岡 栄治	
企画広報課長	武田 安仁	事務局長
財政課長	竹田 哲也	
市民・人権課長	岡本 安代	〈代理出席〉
税務課長	山崎 行伸	
環境生活課長	横山 昌之	
子育て支援課長	中脇 弘樹	
健康推進課長	竹本 美佳	
高齢者支援課長	武内 俊治	
観光商工課長	遠近 由幸	
農林水産課長	宮崎 智也	〈代理出席〉
まちづくり課長	津野 智宏	
上下水道課長	岡村 速人	
福祉事務所長	渡辺 和博	
学校教育課長	岡本 寿明	
生涯学習課長	戸田 裕介	
市民病院事務局長	金子 雅紀	
産業建設課長	竹本 志郎	

〈事務局〉

企画広報課長補佐	宇都宮 朋彦	
企画調整係長	田中 佑典	
株式会社 GPMO		